

手術部

1 構成員

	平成20年3月31日現在
教授	0人
准教授	1人
講師（うち病院籍）	0人（0人）
助教（うち病院籍）	2人（2人）
助手（うち病院籍）	0人（0人）
特任教員（特任教授，特任准教授，特任助教を含む）	0人
医員	0人
研修医	0人
特任研究員	0人
大学院学生（うち他講座から）	0人（0人）
研究生	0人
外国人客員研究員	0人
技術職員（教務職員を含む）	0人
その他（技術補佐員等）	0人
合 計	3人

2 教員の異動状況

白石 義人（准教授，部長）（H15. 7. 1～H19. 3. 31助教授；H19. 4. 1～現職）

三条 芳光（助教）（S52. 12. 16～H19. 3. 31助手；H19. 4. 1～現職）

森田 耕司（助教）（S53. 4. 16～H19. 3. 31助手；H19. 4. 1～現職）

3 研究業績

数字は小数2位まで。

	平成19年度
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	8編（3編）
そのインパクトファクターの合計	6.978
(2) 論文形式のプロシーディングズ数	1編
(3) 総説数（うち邦文のもの）	0編（0編）
そのインパクトファクターの合計	0
(4) 著書数（うち邦文のもの）	1編（1編）
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	1編（1編）
そのインパクトファクターの合計	0

(1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 白石義人：緊急麻酔に欠かせないスキル 日臨麻会誌 27(2):101-108, 2007 【麻酔科学】
2. 森田耕司*, 鶴見智子, 村松里香, 飯田芳子, 滝井利勝, 大村守弘, 白石義人, 岳輝, 住谷健二, 磯賢一郎： 鋼製小物の炭素皮膜コーティングと耐久性について イザイ 1(3):72, 2007 [手術医学], [0]

インパクトファクターの小計 [0.00]

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

1. Jiang Y, Shiraishi Y, Aoki Y, Sato S : Rapid Decrease of Bronchial Cuff Pressure Indicates Slippage of the Bronchial Cuff. 日臨酔会誌 27(3):253-58, 2007 【麻酔科学】
2. Mizuno K, Shiraishi Y, Kojima Y, Sato N, Sato S: Which Surgery Should Be Performed First for Lung Cancer with Internal Carotid Artery Occlusion? Anesthesia and Resuscitation 43 (2):41-42, 2007 【麻酔科学】
3. Okada H*, Kurita T, Mochizuki T, Morita K, Sato S: The cardioprotective effect of dexmedetomidine on global ischaemia in isolated rat hearts. Resuscitation 2007; 74:538-45 [麻酔], [2.55]
4. Kurita T*, Takata K, Uraoka M, Morita K, Sato S: Landiolol, an ultra-short-acting B1-adrenoceptor antagonist, does not alter the minimum alveolar anesthetic concentration of isoflurane in a swine model. Anesthe Analg 2007;105:656-60 [麻酔], [2.214]
5. Kurita T*, Takata K, Uraoka M, Morita K, Sanjo Y, Katoh T, Sato S: The influence of hemorrhagic shock on the minimum alveolar anesthetic concentration of isoflurane in a swine model. Anesthe Analg 2007; 105:1639-43 [麻酔], [2.214]

インパクトファクターの小計 [6.978]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. 三条芳光, 白石義人, 森田耕司, 風間富栄：麻酔記録装置から麻酔情報システムへ-JSA台帳システム投入の影響- 臨床麻酔31:1407-1412, 2007 【麻酔科学】

インパクトファクターの小計 [0.00]

(2) 論文形式のプロシーディングズ

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 森田耕司, 鶴見智子, 村松里香, 飯田芳子, 滝井利勝, 大村守弘, 白石義人, 岳輝 他： 鋼製小物にマーキングされた2次元シンボルの耐久性について 病院設備 49(2)183-184, 2007 【手術医学】

(4) 著 書

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 白石義人：麻酔に関連した薬理学の基本原則, ミラー麻酔科学 (武田純三 監修), メディカ

(5) 症例報告

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

1. 久米容子, 足立裕史, 白石義人, 小幡良次, 中島芳樹, 佐藤重仁:肺塞栓症後の右心不全ならびに僧房弁逆流により両心不全をきたした患者に対する緊急麻酔の経験, 臨床麻酔 31(9):1507-1509, 2007 【麻酔科学】

インパクトファクターの小計 [0.00]

4 特許等の出願状況

	平成19年度
特許取得数（出願中含む）	0件

5 医学研究費取得状況

	平成19年度
(1) 文部科学省科学研究費	0件 (0万円)
(2) 厚生科学研究費	0件 (0万円)
(3) 他政府機関による研究助成	0件 (0万円)
(4) 財団助成金	0件 (0万円)
(5) 受託研究または共同研究	1件 (15万円)
(6) 奨学寄附金その他（民間より）	0件 (0万円)

(5) 受託研究または共同研究

炭素皮膜コーティングによる 2次元バーコードを使用した手術用鋼製機器の周手術管理システムの開発, 瑞穂医科工業, 2007. 4. 1-2008. 3. 31, 分担者（手術部・白石義人） 15万

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0件	3件
(2) シンポジウム発表数	3件	2件
(3) 学会座長回数	0件	9件
(4) 学会開催回数	0件	0件
(5) 学会役員等回数	0件	8件
(6) 一般演題発表数	0件	

(1) 国際学会等開催・参加

5) 一般発表

口頭発表

白石義人

1. Makino H Sanjo Y, Katoh, Shiraishi Y, Sato S:3-D visualization of cardiac murmur improves teaching of cardiac auscultation Euroanaesthesia 2007 Annual Meeting of the European Society of Anaesthesiology, Munich, Germany 2007. 06. 09-12
2. Adachi U Y, Suzuki K, Obata Y, Shiraishi Y, Sato S: Landiolol Attenuates the Hemodynamic Response to Endotracheal Suctioning in the Intensive Care Unit. American Society of Anesthesia, 2007 Annual meeting, San Francisco, USA 2007. 10. 13-17
3. Adachi U Y, Mimuro S, Uraoka M, Shiraishi Y, Sato S: Ketamine Increased Nitric Oxide Release in the Rat Striatum Independent From Acetylcholine Release. American Society of Anesthesia, 2007 Annual meeting, San Francisco, USA, 2007 10. 13-17

(2) 国内学会の開催・参加

2) 学会における特別講演・招待講演

森田耕司

1. HPSの沿革，海外各国のシミュレータ，日本麻酔科学会 第54回学術集会（日本医学シミュレーション学会共催）高機能患者シミュレータ（HPS）公開ワークショップ「シミュレーションカフェ」，2007年6月1日，札幌
2. HPSを使用した学生教育と研修医の技能認定，日本麻酔科学会 第54回学術集会（日本医学シミュレーション学会共催）高機能患者シミュレータ（HPS）公開ワークショップ「シミュレーションカフェ」，2007年6月1日，札幌
3. HPSの概要（イントロダクション），日本医学シミュレーション学会主催HPSインストラクターアドバンスセミナー，2007年8月25，26日，テルモメディカルプラネックス（神奈川県）

3) シンポジウム発表

白石義人

1. 神経筋接合部を意識した筋弛緩投与方法とモニタリング：神経筋接合部に影響する薬物とモニタリング，日本臨床麻酔学会第27回大会，2007. 10. 25-27，東京
森田耕司
2. 日本医学シミュレーション学会におけるシミュレーション教育の概要，シミュレーション医療・医学教育を推進する諸学会代表者によるラウンドテーブルディスカッション，2007年11月13日，シミュレーション医療教育総合展 2007（SimEXPO 2007），日本橋プラザ(東京)

4) 座長をした学会名

白石義人

1. 医師一般演題ポスター36 呼吸(6)デバイス，第34回日本集中治療医学会学術集会，2007. 03. 01-03，神戸市
2. パネルディスカッション：ウツタイン方式による各地域の病院前心停止症例の検討，日

本蘇生学会第26回大会，2007. 10. 05-06，岡山市

3. ポスター：気道確保- 8，日本臨床麻酔学会第27回大会，2007. 10. 25-27，東京
森田耕司

1. 高機能患者シミュレータ（HPS）ワークショップ，日本麻酔科学会 第54回学術集会（日本医学シミュレーション学会共催），2007年 6 月 1 日，札幌市
2. 高機能患者シミュレータ（HPS）公開ワークショップ（シミュレーションカフェ），日本麻酔科学会 第54回学術集会（日本医学シミュレーション学会共催），2007年 6 月 1 日，札幌市
3. HPSワークショップ，平成19年度東京麻酔専門医会リフレッシュコース，東京麻酔専門医会主催，2007年 7 月21～22日，東京都
4. 第9回高機能患者シミュレータ（HPS）セミナー，日本医学シミュレーション学会，神奈川県，2007年 8 月26日
5. 第 1 回高機能患者シミュレータ（HPS）インストラクターアドバンスセミナー，日本医学シミュレーション学会，テルモメディカルプラネックス（神奈川県），2007年 8 月 25，26日
6. 第10回高機能患者シミュレータ（HPS）セミナー（こうすればどうなる，しなければどうなる？），日本臨床麻酔学会第27回大会，日本医学シミュレーション学会共催，2007年10 月26日，東京国際フォーラム（東京都）

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

白石義人

1. 日本麻酔学会 代議員，安全管理委員会（部会員），東海・北陸地方会代議員
2. 日本臨床麻酔学会 評議員
3. 日本ペインクリニック学会 評議員
4. 日本集中治療医学会 代議員

森田耕司

1. 日本麻酔・集中治療テクノロジー学会評議員
2. 日本静脈麻酔学会評議員
3. 日本医学シミュレーション学会評議員
4. 日本医学シミュレーション学会高機能患者シミュレータ代表世話人

8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数（レフリー数は除く）	0件	0件

9 共同研究の実施状況

	平成19年度
(1) 国際共同研究	0件

(2) 国内共同研究	0件
(3) 学内共同研究	0件

10 産学共同研究

	平成19年度
産学共同研究	1件

1. 炭素皮膜コーティングによる2次元バーコードを使用した手術用鋼製機器の周手術管理システムの開発，瑞穂医科工業

12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

1. エントロピーを使用した確率論的冗長度による脳波解析と麻酔深度は，循環停止を伴う大動脈置換術のように超低体温を要求される状況において，位相相関（バイスペクトラル）インデックス（BIS）に比して定量化に優れる事を臨床研究にて実証した。
2. 日本麻酔科学会学術集会ならびに日本臨床麻酔学会大会，医学シミュレーション学会，東京麻酔医専門会において，臨界危機的状況に置ける麻酔管理の訓練を目的に高機能患者シミュレータを使用したセミナーを代表責任者，インストラクター，招聘演者として活動した。

13 この期間中の特筆すべき業績，新技術の開発

白石義人

1. 地域貢献事業「医療の現場を知る」静岡県の高校生を対象とした手術部における麻酔科医，産婦人科医，小児科医の役割についての講義とシミュレータによる体験学習と見学，平成19年度 3回開催，参加者55名
2. 救急救命士の医療行為が拡大されそれに伴う教育（講義および実習）が社会の急務となっており，積極的にそれに参画し地域（県）との連携を深めて地域への還元を図っている。また，静岡県の高校生を対象とした事業を実施し将来浜松医科大学を目指し，静岡県で働く人材の発掘に寄与した。

森田耕司

3. 東京麻酔専門医会リフレッシュコースにて日常的に生じるインシデントやアクシデントに対する危機管理や極めて希だが，重篤な結果をもたらすインシデントやアクシデントに対する適切な危機管理を高機能患者シミュレータによる参加型訓練を行っている。今期で3回目だが，毎年定期的に行うことを目標としている。
4. 高校生を対象とする病院見学の際に，高機能患者シミュレータを使用した体験訓練（3回）において，循環，呼吸などのバイタルサインの理解，麻酔の重要性などの説明を実施した。